

武蔵野商工会議所工業部会 講演会

於：武蔵野商工会議所 5階第1・2会議室

2019年（令和元年）10月7日（月）午後6時30分より、武蔵野商工会議所（東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-7）5階第1・2会議室に於いて「脳神経疾患治療の新技术-神経工学の世界-」と題して講演会が開催されました。

この講演会は、武蔵野商工会議所と共催で、精密測定技術の向上をはかり、科学技術の振興や産業の発展に貢献できるよう、地域の中小企業との交流の場として開催しております。



講義内容：「脳神経疾患治療の新技术-神経工学の世界-」

講師：東京大学大学院工学系研究科 教授 神保 泰彦 先生

参加費：無 料

わが国の生命科学は世界の中でも、とても高いレベルで発展を続けており、近年のノーベル生理学・医学賞の連続受賞がそれを証明しています。神経工学の分野では、脳神経疾患の難しい症例に対して工学的な支援技術の研究開発がさかんに行われており、聴覚障害支援を目指す「人工内耳」、パーキンソン病の病変部位への深部脳刺激による運動機能支援など、そのメカニズムの解明のため、生体现象の理解を目指す研究、診断・治療機器の開発について、スライドや動画により詳しく紹介されました。

ご出席いただいた皆様には熱心に聴講いただき、講演会終了後には、情報交換が行われました。